

# 平成30年度決算の概要

## 1. 総括

地方財政を取り巻く環境は、急速な少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少や社会保障費の増加、公共施設等の老朽化対策、予測できない自然災害への備えなど、依然として厳しい状況にあり、地方自治体は様々な課題に持続的かつ臨機応変に取り組んでいく必要がある。

このような状況の中、本市においては、平成30年度予算編成に当たり事業評価を実施した上で、財政の健全性に留意しつつ、第五次総合計画に掲げる事業を具現化していくとともに、「先端のまち館林」として持続可能な魅力あるまちづくりを推進するため、様々な施策を実施した。

この結果、歳出決算額は一般会計27,607,650千円、国民健康保険特別会計8,091,187千円、下水道事業特別会計1,707,111千円、農業集落排水事業特別会計43,581千円、介護保険特別会計6,136,089千円、後期高齢者医療特別会計874,684千円となった。

なお、本年度における施策の主要項目を列挙すると、次のとおりである。

### (1) 主な新規事業

#### ア 雇用安定対策事業

移住定住促進通勤支援金を創設した。

#### イ たてばやし商業支援事業

リノベーションまちづくり事業を実施し、エリア価値を高めるまちづくりの推進を図った。

#### ウ 防災関係

市民の防災意識向上のため、館林市ハザードブックを作成した。

#### エ 学校運営協議会設置事業

地域の教育力を学校運営に生かす学校運営協議会制度を、第四小学校において導入した。

#### オ 幼稚園施設整備事業

東幼稚園・西幼稚園のトイレ改修工事を実施した。

カ 向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業

東京大学先端科学技術研究センターによる「異才発掘プロジェクトROCKET」と連携し、個性豊かな子どもたちに新しい学びの場の提供や個性に応じた支援を実施した。

キ 学校給食センターPFI運営事業

PFI方式により整備した学校給食センターによる給食の提供を開始した。

(2) 主な継続事業

ア 一般廃棄物処理施設整備事業

新しいストックヤード建設のため、本年度は清掃センター焼却処理施設解体工事を開始した。

イ 金券発行事業

市民への各種補助金等を市内の店舗で使用できる金券で交付したほか、10%のプレミアム付館林市金券を発行し、一層の消費喚起及び地域経済の活性化を図った。

ウ 幹線排水路整備事業

準用河川宮田川改修事業は、平成16年度から19か年継続事業として整備を進めているが、本年度は護岸築造工事48.6mを実施した。

エ 中央通り線道路改良事業

平成28年度から12か年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は用地376.31㎡の取得と2件の補償を実施した。

オ 土地区画整理事業

・西部第一南地区

昭和61年度から43か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事90.8m、2戸2棟の建物移転等を実施した。

・西部第一中地区

平成元年度から37か年継続事業として整備を進めているが、本年度は西口駅前広場整備工事1,950.0㎡、駅西通り線舗装工事119.2m、西部二号線2号橋築造工事3.3m、区画道路改良工事478.5mを実施した。

・西部第二地区

平成11年度から34か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事を265.8m、9戸10棟の建物移転等を実施した。

カ 三野谷公民館改築事業

本年度は三野谷公民館改築工事を開始した。

キ 公共下水道整備事業

昭和44年度から整備を進めているが、本年度は管きよ整備として污水管1,407.8m、雨水きよ62.7mの布設、処理場整備として、施設工事委託を実施した。